

## メルセデス AMG GT 4 ドアクーペを発表

- ・ 究極のハイパフォーマンスと官能的なデザイン、快適性を兼ね備えたスポーツカー
- ・ メルセデス AMG 最速の 0-100km/h 加速 3.2 秒、最高速度 315km/h

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、「メルセデス AMG GT 4 ドアクーペ」を発表し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて本日より注文受付を開始します。なお、お客様への納車は 5 月以降を予定しております。

「メルセデスAMG GT 4 ドアクーペ」は、メルセデスAMG社の独自開発による新たなスポーツカーです。メルセデスAMGのアイデンティティである、究極のハイパフォーマンスを持ちながら、官能的なデザインと広い室内空間および4ドアの利便性を兼ね備えており、パフォーマンスやデザイン性を求めながらも、日常生活での使い勝手にも妥協をすることができないお客様のご要望に応えるモデルです。

### 「メルセデスAMG GT 4 ドアクーペ」の特長

#### シャーシ

「メルセデス AMG GT 4 ドアクーペ」のシャーシの開発には、モータースポーツの分析およびシミュレーションの手法が採用され、最大のパフォーマンスを確保すべく、適切な箇所に補強を実施しました。フロントセクションは非常に剛性が高く、正確なステアリングとフィードバックをドライバーにもたらしめます。中央部からリアエンドは、ガセットやクロスメンバーを追加、ラゲッジフロア部に CFRP を採用するなど軽量、高剛性を実現しています。

「メルセデス AMG GT 63 S 4MATIC+」(以下、GT 63 S)と「メルセデス AMG GT 53 4MATIC+ (ISG 搭載モデル)」(以下、GT 53)はマルチチャンバーを備えた「AMG RIDE CONTROL+ エアサスペンション」を標準装備しています。コーナリング時やブレーキング時には、硬いスプリングレートに瞬時に切り替えることで、高い安定性と思いのままの俊敏なハンドリングを実現します。さらに、走行状況に合わせて四輪それぞれを電子制御する連続可変ダンピングシステムを採用しています。また、ボタンを押すことで車高を上げ、駐車場のスロープなどでも気を遣わずに運転することが可能です。

「メルセデス AMG GT 43 4MATIC+ (ISG 搭載モデル)」(以下 GT 43)にはコイルスプリングと電子制御式可変ダンパーを組み合わせた「AMG RIDE CONTROL サスペンション」を標準装備\*1しています。

\*1 :「AMG RIDE CONTROL+エアサスペンション」をパッケージオプション設定。

「GT 63 S」には、AMG 4.0リッターV8直噴ツインターボエンジン「M177」が搭載されます。砂型鑄造されたクローズドデッキのアルミニウムクランクケースに鍛造アルミニウム製ピストンを組み合わせることで、軽量かつ高強度なエンジンを実現しました。また、シリンダーウォールにスチールカーボン材を溶射コーティングするNANOSLIDE®摩擦低減加工を施すことで、フリクションロスを低減しています。

2基のターボチャージャーはV型シリンダーバンクの外側ではなく内側に配置する「ホットインサイドV」レイアウトとしました。エンジンを可能な限りコンパクトにするとともに、ターボチャージャーへの吸排気経路の最適化とツインスクロールとすることで、低回転域から優れたレスポンスを実現します。

メルセデスAMGが独自開発したこれらの最新技術により、最高出力639PS(470kW)、最大トルク900Nmを2,500~4,500回転の広い範囲で発揮し、0-100km/h加速 3.2秒、最高速度315km/hを実現しています。

また、効率性を強化するため、気筒休止機能「AMGシリンダーマネジメント」を搭載しました。「Comfort」モードで走行中、エンジン回転数が1,000~3,250回転で低負荷の際に、2番、3番、5番、8番のシリンダーを休止することで燃料消費量とCO<sub>2</sub>排出量を抑えることができます。

トランスミッションは、ダイレクト感のある素早いシフトチェンジと高い伝達効率を実現した電子制御式9速トランスミッション「AMGスピードシフトMCT(マルチ・クラッチ・テクノロジー)」を搭載。通常のオートマチック・トランスミッションに見られる損失を低減し、軽量化も相まって燃費の大幅な向上とレスポンス向上に貢献しています。シフトダウン時の自動ブリッピング機能やレーススタート機能によってダイナミックな走りも愉しめます。

また、シフトダウン時に一速飛ばしたギアを選択したり、自動ダブルクラッチ機能など効率良くシフトチェンジを行います。

## 直列6気筒エンジン「M256」+インテグレートッドスタータージェネレーター(ISG)

「GT 43」と「GT 53」には、直列6気筒エンジン「M256」と「インテグレートッド・スターター・ジェネレーター(以下ISG)」が搭載されます。ISGはエンジンとトランスミッションの間に配置された、最高出力21PS(16kW)、最大トルク250Nmを発生する電気モーターで、オルタネーターとスターターの機能も兼ねています。

この電気モーターと「48V電気システム」により、従来のハイブリッド車のような回生ブレーキによる発電を行い、約1kWhの容量のリチウムイオンバッテリーに充電します。エンジンが低回転時には、その電力を利用して動力補助を行うことで、高い効率性と、力強い加速を実現します。スターターが従来より高出力な電気モーターとなることで、エンジン始動時の振動を抑え、エンジンスタートおよびアイドリングストップの際の再スタートの快適性を向上しました。

また、アイドリング時には、電気モーターの充電電流を調整することで、エンジン回転数を低回転で安定的に保つことを可能にし、効率性、快適性および静粛性に寄与します。さらに、このモーターはシフトチェンジ時にも使用され、エンジンが理想的回転数に達するまでの時間を最小限に抑えるためのアシストも行います。これにより、シフトチェンジに必要な時間が短縮され、スムーズでタイムラグの少ないシフトチェンジを実現します。

「M256」エンジンは、直列6気筒レイアウトの採用によりエンジン左右のスペースに補器類を配置することが可能になったことに加え、従来はエンジン回転を動力源としていたエアコンディショナー、ウォーターポンプなども電動化されたため、エンジン前部のベルト駆動装置が不要となり、よりコンパクトなエンジンになりました。また、エンジン近接型の触媒を採用し、より効率的な排出ガス処理を可能にしています。さらに、12mmオフセットされたエンジンや、シリンダーウォールにスチールカーボン材を溶射コーティングするNANOSLIDE®摩擦低減加工を施すことで、フリクションロスを低減しており、高回転まで伸びやかな加速と振動が少ないという特徴を実現しています。さらに、排気によるターボチャージャーが効果を出しづらい、低回転域で過給を行う「電動スーパーチャージャー」を搭載することにより、ターボラグを解消しています。「電動スーパーチャージャー」と「ISG」による動力補助および排気ターボチャージャーとの組み合わせで、あらゆる回転域で俊敏なエンジンレスポンスを実現しています。

「GT 43」は最高出力367PS(270kW)、最大トルク500Nm、「GT 53」は最高出力435PS(320kW)、最大トルク520Nmを発揮します。

#### パフォーマンス志向の四輪駆動システム「AMG 4MATIC+」と「電子制御AMGリミテッド・スリップ・デフ」

高性能エンジンのパワーを四輪に最適配分するメルセデスAMGが開発した新しい四輪駆動システム「AMG 4MATIC+」を搭載しています。前後トルク配分が50(前):50(後)から0(前):100(後)の範囲で可変トルク配分を行うことで、ハイパワーを四輪へ最適に配分します。発進時はもちろん高速走行、ハイスピードコーナリング、そしてコーナーの立ち上がり加速などにおいて絶対的な安定性を誇り、思いのままのドライビングを楽しむことができます。さらに、「GT 63 S」には駆動配分を0:100の完全後輪駆動にすることで、サーキット走行時などにおいてドライバーの意のままに操ることができる「ドリフトモード\*2」を搭載しています。また、「電子制御AMGリミテッド・スリップ・デフ\*2」を装備し、走行状況に応じてロッキング機構を電子制御することでトラクションを高め、コーナー出口での加速タイミングを早める、ブレーキング時の安定性を高める、発進加速時のトラクションを高めるなどの効果を発揮します。

\*2: GT 53にはパッケージオプション設定。

#### AMGリア・アクスルステアリング\*3

「GT 63 S」にはAMGリア・アクスルステアリングが採用されています。このシステムはアジリティと安定性の両立をさらに進化させることにより、AMG GT 4ドアクーペのダイナミズムと走行安全性を強化します。

速度が100km/h以下では、電動アクチュエーターモーターの働きでリアホイールをフロントホイールとは逆方向に最大1.3度操舵します。これによりコーナー進入時のアジリティが大幅に高まるほか、日常の走行シーンでは回転半径が小さくなるため、クルマが扱いやすくなります。

速度が100km/hを超えると、リアホイールをフロントホイールと同じ方向に最大0.5度操舵することで、走行安定性を大きく高めます。同時に、方向を変える際、リアホイールに働く横Gの増加ペースが高まり、ステアリング操作に対するレスポンスが改善されます。また、素早くステアリング操作しても、通常のようにリアが外側に流れる傾向を見せず、優れたリアグリップと安定性が得られます。

\*3: GT 53にはパッケージオプション設定。

ドライブモードは「GT 43」と「GT 53」で 5 モード\*4、「GT 63 S」で 6 モード用意されており、センターコンソールの AMG DYNAMIC SELECT で様々な状況に最適な制御を選択することができます。

各ドライブモードでは、エンジン、トランスミッション、サスペンション、エグゾースト、ステアリングの制御が変更可能な他、各モードに自動選択される「ベーシック」、「アドバンスト」、「プロ」、「マスター」の 4 つのモードがあり、四輪駆動システムや ESP®の制御を変化させます。

例えば、ドライブモード「レース」「マスター」モードは、ヨーレートの引き上げや、アクセルペダル、ギアシフトシステム、リア・アクスルステアリング、リアの電子制御リミテッド・スリップ・デフ、あるいは四輪駆動システムのブレーキ力配分のレスポンス高速化などを行います。

また、ドライブモードとは独立して、マニュアルシフトへの切り替えや、車高およびエグゾーストサウンドの調整などがセンターコンソールの液晶表示ボタンで操作することができます。

\*4 : GT 53 は「AMG ダイナミックパッケージプラス」を選択すると、ドライブモードが 6 モードになります。

## エクステリア

「メルセデス・AMG GT 4 ドアクーペ」は、快適な後席環境や積載性を確保する一方、メルセデス・ベンツの「Sensual Purity(官能的純粋)」というデザインの基本思想にのっとり、官能的なスタイリングに仕上げられています。また、AMG GT ファミリーであることが、はっきり分かるようなスポーティさを兼ね備えています。

フロントは、伝統的なクーペの構造的特徴であるロングボンネットと二つのパワードームが採用されています。さらに、上下方向に細く、幅の広いデザインのマルチビーム LED ヘッドライト、AMG のトップモデルが纏う、縦にルーバーが入った AMG 専用ラジエターグリル、逆スラントした「シャークノーズ」、「GT 43」および「GT 53」には流麗な「A ウイング」デザイン、「GT 63 S」には両端部をさらに際立たせた、改良型「ジェットウイング」など、AMG GT ファミリーならではのパフォーマンスを感じさせるデザイン要素をふんだんに盛り込んでいます。

また、フロントエプロン下部には電気モーターにより約 1 秒で開閉する、電子制御式垂直ルーバー「エアパネル」が装備されます。ルーバーはトップスピードでの走行中や制動時、高速コーナリング時を含めて通常は閉じています。これにより空気抵抗を少なくするとともに、気流をアンダーボディへ導き、フロントに働く揚力を低減します。コンポーネントが一定の温度に達し、冷却が必要となったときだけルーバーを開き、各種ラジエターへ流れる空気の量を最大限に高めます。

リアにも上下方向に細い LED リアコンビネーションランプやリトラクタブルリアスポイラー\*5 など AMG GT ファミリーの特徴が表現されています。「GT 43」と「GT 53」には円形のデュアルエグゾーストエンド、「GT 63 S」にはスクエア型のデュアルエグゾーストエンドが採用されるとともに、より大型のリアディフューザーが装着されます。

\*5 : GT 63 S で AMG カーボンパッケージを選択した場合は、アジャスタブルリアウイングスポイラーが装着されます。

サイドはサッシュレスウィンドウと後方に向けて大きく傾斜した上下方向に細いウィンドスクリーンを採用し、4 ドアの利便性を持ちながら、クーペの流麗なルーファインも保っています。ワイドなリアのショルダ一部は「メルセデス AMG GT 4 ドアクーペ」のアスレチックでスポーティな志向を表現するとともに、リアトレッドの拡大に寄与します。アルミホイールはモデルと選択するオプションにより 19 インチから軽量の鍛造の 21 インチホイールまでの中から装着され、パフォーマンスとスポーティなイメージに貢献しています。

「メルセデスAMG GT 4ドアクーペ」のインテリアの大きな特徴は乗車定員が5人であること、そして高い積載性です。リアシートは大人であっても十分な空間が確保されています。ラゲッジスペース容量は最大で 461 リッター\*6、さらにリアシートを格納した場合、最大 1,324 リッターまで広がります。

\*6:GT 43 と GT 53 はラゲッジ容量が 5 リッター少なくなります。

インテリアデザインは高級感がありながら、パフォーマンスの高さも感じさせるデザインとなっています。面積が広く、流れるようなデザインでワイドさを強調するインテリアトリムやタービンエンジンを想起させるエアアウトレット、2 つの高精細 12.3 インチワイドディスプレイを一枚のガラスカバーで融合したコックピットディスプレイなど、基本デザインを最新のメルセデス・ベンツモデルと共有しています。その一方、センターコンソールは「メルセデスAMG GT」譲りの、V8 エンジンをモチーフにしたデザインが採用され、航空機のコックピットのように各種スイッチやボタンが機能的に配置されます。最新の AMG モデルに共通のステアリングホイールは、スポーティな印象を与えるとともに、正確な操舵のためのグリップを実現するデザインとなっています。さらに、ステアリングホイールから手を離さずに走行モードを変更することができる「AMGドライブコントロールスイッチ」が装備されます。右側のスポークの根元に位置するボタンは AMG DYNAMIC SELECT の走行モードなどを選択することができ、左側はエグゾースト、サスペンション、マニュアルモード、ESP®などの調整を行うことができます。

「GT 43」には、レザーARTICO/DINAMICA の AMG スポーツシートが標準装備となり、オプションでナッパレザーが選択可能です。「GT 53」にはナッパレザーのスポーツシートが標準装備となり、オプションでナッパレザーのフルレザー仕様や、セミバケットタイプのAMG パフォーマンスシートなど、多種多様な材質と形状が選択可能となります。「GT 63 S」では、「GT 53」と同様の選択肢に追加して、黄色や赤のアクセントステッチが入るスポーツ走行に最適なフルレザー仕様(ナッパレザー/DINAMICA)を選択することも可能です。

### **「メルセデス AMG GT 63 S Edition 1」**

「メルセデス AMG GT 4 ドア クーペ」の発表を記念した特別仕様車「メルセデス AMG GT 63 S Edition 1」も本日より注文受付を開始いたします。この特別仕様車は、外装色に「ダイヤモンドホワイト」と「グラファイトグレー」を用意しました。また、Edition 1 専用ポリッシュ/マットブラックペイント 21 インチ AMG クロススポークホイール(鍛造)を装着しています。エクステリアには、空力をさらに強化する「エアロダイナミックパッケージ」を採用し、フロントには追加のフリックの装着および大型の専用フロントスポイラーリップにより気流とフロントアクスルのダウンフォースをさらに改善します。リアには手動で角度が調整可能な固定の「アジャスタブルリアウイングスポイラー」と大型の専用リアディフューザーが装着され、空気抵抗値を保ったまま、リアアクスルに働くダウンフォースを高めます。インテリアは、イエローステッチの入った、マグマグレーとブラックのツートンナッパレザー(フルレザー仕様)、専用のイエローステッチ入りのフロアマット、イエローシートベルト及び専用の「AMG マットカーボンファイバーインテリアトリム」が採用されているほか、ステアリングホイールにはイエローのセンターマーキングと専用のバッジが施され、ドライバーの高揚感を演出します。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ( )内は消費税抜き車両本体価格
メルセデス AMG GT 43 4MATIC+ (ISG <sup>*7</sup> 搭載モデル)	左/右	3.0L、L6 直噴 ターボ	¥ 11,760,000 ( ¥ 10,888,889)
メルセデス AMG GT 53 4MATIC+ (ISG <sup>*7</sup> 搭載モデル)	左/右		¥ 15,930,000 ( ¥ 14,750,000)
メルセデス AMG GT 63 S 4MATIC+	左	4.0L、V8 直噴 ターボ	¥ 23,530,000 ( ¥ 21,787,037)
メルセデス AMG GT 63 S 4MATIC+ Edition 1	左		¥ 24,770,000 ( ¥ 22,935,186)

\*7: ISG は Integrated Starter Generator の略称です。

\*8: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。販売店が価格は独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、「メルセデスAMG GT 4ドアクーペ」には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

また、メルセデス・ケア期間中には、ご希望のモデルを3回無料でご利用いただける週末貸出サービス「シェアカー・プラス」もご利用頂くことが可能です。

さらに、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」をご用意しています。



メルセデスAMG GT 63 S 4MATIC+



メルセデスAMG GT 63 S 4MATIC+ Edition 1

## 「インテリジェントドライブ」

### 飛躍的に進化した「レーダーセーフティパッケージ」

高度化されたステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーの働きにより周囲の交通状況をよりの確に把握することができるようになり、機能が大きく強化されました。

#### ・アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付）

#### ・アクティブステアリングアシスト

「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付）」は、ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、高速道路などの走行時に先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセルおよびブレーキを自動調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。また、新たに停止している先行車の検知も可能となりました。先行車および停止中の車両との距離が突然縮まった場合には、警告灯と警告音でドライバーに知らせます。

自動再発進機能も備わり、高速道路での渋滞時に自動停止した際、30 秒以内に先行車が発進した場合は、ドライバーがアクセルを踏まなくても自動で再発進します（一般道では 3 秒以内）。30 秒以上停止していた場合は、アクセルを軽く踏む、またはステアリング上のスイッチを使用して再発進が可能です。

「アクティブステアリングアシスト」は、車線のカーブと先行車を、車線が不明瞭な道ではガードレールなどを認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシスト<sup>\*7</sup>します。

\*10: アクティブディスタンス・ディストロニック(自動再発進機能付)作動速度範囲:0~約 210km/h  
設定可能速度範囲:約 20~210km/h

\*11: 車線が不明瞭な場合のアクティブステアリングアシスト作動範囲:0~約 130km/h

#### ・渋滞時緊急ブレーキ機能

ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーで、先行車およびその左右の車線を監視します。突然渋滞の最後尾が現れた場合などに、前走車との衝突の危険を検知します。その左右などに回避スペースが無いと判断すると、即座に自動ブレーキが作動し、衝突回避または被害軽減を図ります。回避スペースがある場合は、ドライバーの回避操作を優先します。ただし、ドライバーが反応しない、または回避操作が遅れて衝突が回避できないと判断した場合には、即座に自動ブレーキが作動します。さらに、渋滞末尾で回避操作を行う空間的余裕がない危険な状況を検知して、通常よりはるかに早い段階でブレーキを自動で作動させる機能も搭載しました。

#### ・アクティブレーンチェンジングアシスト

高速道路を走行時にアクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーがウインカーを点滅させると 3 秒後に車両周囲を監視しているセンサーが他の車両などとの衝突の危険が無いことを確認し、安全が確認された場合に自動で車線を変更します。また、ドライバーがウインカーを作動させたときに周囲の状況により車線変更ができない場合でも、10 秒以内であれば、システムが車線変更できるかどうか確認し続け、自動で車線変更を行います。その際、作動状況をマルチファンクションディスプレイに表示します。

\*12: 作動速度範囲:約 80km/h~180km/h（一般道での利用不可）

## ・アクティブエマージェンシーストップアシスト

アクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーが一定時間ステアリング操作を行わない場合、警告灯と警告音によってステアリングを握るよう促し、それでもドライバーがステアリング、アクセル/ブレーキ、タッチコントロールボタンの操作の反応が無い場合は、さらに警告音を鳴らしながら、緩やかに減速して停止します。また、車両停止後は自動的にパーキングブレーキがかかることで、後方からの衝突による二次災害を防止します。

## ・アクティブブレーキアシスト(歩行者/飛び出し検知機能付)

先行車、前を横切る車両や合流してくる車両、歩行者、路上の物体などとの衝突の危険性を感知すると、ディスプレイ表示や音でドライバーに警告します。必要な場合はシステムが衝突を回避するために強力な制動力を発揮できるようブレーキ圧を高めます。同時に、前席のシートベルトの巻き上げや助手席のシートポジション修正など、衝突時に乗員の最適な姿勢を可能な限り確保する PRE-SAFE®機能も作動します。ドライバーが反応しない場合、システムが衝突を避けられないと判断して、最大のブレーキ力で自動緊急ブレーキが作動します。衝突の回避もしくは被害軽減を効果的にサポートします。なお、交差点での車両飛び出しにも対応します。

\*13: 作動速度範囲: 約 7~250km/h

\*14: 歩行者検知機能 作動減速範囲: 約 7~70km/h

\*15: 作動速度範囲は、気象条件や道路状況等により変動することがあります。

## ・緊急回避補助システム

車両前方にいる車道横断中の歩行者などとの衝突の危険を検知すると、システムが正確なステアリングトルクを計算して、ドライバーのステアリング操作をアシストします。また、回避後の車線復帰も同様にサポートします。

\*16: 作動速度範囲: 約 20~70km/h

## ・トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

## ・アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウインドウのステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は自動補正ブレーキによって車両を車線内に戻そうとします。なお、破線の車線走行時には隣車線の車両もしくは対向車と衝突の危険がある場合のみ作動します。

\*17: 作動速度範囲: 約 60km/h~200km/h

## ・アクティブブラインドスポットアシスト

リアバンパー左右のレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいてることを警告します。さらに、30km/h以上で走行の際に側面衝突の危険がある時にはブレーキを自動制御して、危険回避をサポートします。追い越し車線に移ろうとして斜め後ろにいる車両に気づかなかった時など、ドライバーの不注意によるミスを予防し、安全な走行を支援します。

\*18: 作動速度範囲: 約 8~200km/h

\*19: 自動コース修正作動減速範囲: 約 30~200km/h



## ・PRE-SAFE®プラス(被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム)

Page 9

リアバンパーに設置されたレーダーセンサーが後方のクルマを監視して車間距離と接近速度から衝突の危険があると判断すると、ハザードランプを素早く点滅させて後続車のドライバーに警告するとともに、インジケーターによりドライバーに警告します。自車が停止中で後続車が十分に減速しない場合は、後方からの衝突に備えてブレーキ圧を高めます。これにより玉突き衝突の回避など二次被害の軽減をサポートします。さらにシートベルトテンショナーも作動させ、衝撃の影響の低減を図ります。

## ・PRE-SAFE®サウンド

システムが不可避の衝突を検知すると、車両のスピーカーから鼓膜の振動を抑制する音を発生させ、鼓膜の振動を内耳に伝えるあぶみ骨筋の反射収縮反応を引き起こします。この収縮によって衝撃音の内耳への伝達を軽減します。

## ドライバーを支援するその他のシステム

### ・ドライブアウエイアシスト

車両前方もしくは後方 1m 以内に障害物があり、その方向に進むギアを選択した場合、アクセルを強く踏んでも時速 2km/h 以上の速度が出ず、警告音によりドライバーに誤操作の可能性があることを警告します。

\*20: 停止した際に、一旦 P にシフトした後、D か R に入れる必要があります。通常走行中に停止し、P にシフトせずに再発進をする場合は、本機能は作動しません。

\*21: 時速 2km/h で走行し、警告にも関わらずドライバーがブレーキを踏まない場合は障害物に衝突します。

\*22: 停止した際に障害物から 1m 以上離れている場合、本機能は作動しません。

### ・アクティブパーキングアシスト

約 35km/h 以下で走行中、超音波センサーが左右の最適な駐車スペースを自動で検出し、縦列駐車、並列駐車スペースへの出入りの際にドライバーをサポートします。自動操舵・ブレーキ・シフトチェンジ・速度コントロール機能により、自動で駐車します。複数の駐車スペースを選択することもできます。ブラインドスポットアシストとの組み合わせで働く「リアクロストラフィックアラート」は、並列駐車スペースからバックで出る際に、後ろを横切るクルマを検知してドライバーに注意を促すとともに、必要に応じて自動でブレーキを作動させます。

### ・マルチビーム LED ヘッドライト

ステレオマルチパーパスカメラと 4 つのコントロールユニットにより、理想的な配光パターンを毎秒 100 回の頻度で解析することで、片側 84 個の LED を高精度に正確に配光します。道路標識の反射が起こらないように前方を照射することや雨天時に路面からの反射を抑えドライバーに見やすい視界を提供することも可能です。さらに、対向車の眩惑防止はもちろんのこと、カーブを検知すると前もって配光パターンを制御し、カーブの先を早めに照らすことで安全性を高めます。

自動車が通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「24時間緊急通報サービス」などを最長10年間無償でご提供する「安心安全サービス」、Send2Carなどを3年間無償でご提供する「快適サービス」、メルセデス・ベンツ 24時間コンシェルジュサービスを1年間無償でご提供する「おもてなしサービス」の3つのサービスカテゴリから構成されます。

「安心安全サービス」

- 24時間緊急通報サービス: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが消防に連絡します。
- 24時間故障通報サービス: ツーリングサポートが必要な際に、meボタンを押下するとツーリングサポートセンターにつながります。

「快適サービス」

- リモートドアロック&アンロック: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- リモート(車両)ステータス確認: 車両の走行距離、燃料計、平均燃費等の状態をアプリ等で確認できます。
- MB Apps: 天気情報やインターネットラジオをMB Appsで表示、使用できます。
- 駐車位置検索: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

「おもてなしサービス」

- メルセデス・ベンツ 24時間コンシェルジュサービス: 車内から専用ボタンを押すだけで専門のオペレーターが24時間365日対応します。
  - ✓ 車載された通信モジュールを利用し、ナビゲーションの目的地を設定
  - ✓ レストランやホテル等の検索・予約サポート\*23
  - ✓ メルセデス・ベンツ正規販売店の検索・ご案内
  - ✓ 緊急時の病院の案内 など

\*23: 施設により本予約と仮予約のいずれかのご提供となります